



平成18年度指定 高指第110号

武蔵川 義則

生年／昭和24年 指定技術名／漆器・螺鈿



あおがいぬりかざりばこ「はるのうた」

青貝塗飾箱「春の詩」

計算された構図と配色は、作者の研ぎ澄まされた感覚と極めて緻密な技術によるものであり、色付螺鈿技法により生み出される貝が織りなす多彩な色調は、作品に豪華でありながら格調のある気高さを与えている。桜の間を舞い飛ぶ四十雀は、毛彫りによりその羽毛まで繊細に表現されているなど、随所に蒔絵、彩色塗なども施され、作者の幅広い技術を見ることができる重厚な作品である。

平成13年作

素材・技法／朴材・漆塗、青貝鏤絵

寸法／高さ15cm×幅21cm×奥行21cm

〔表彰・受賞歴〕

- 昭和52年 高岡伝統工芸加工技術振興展最優秀賞
- 昭和60年 高岡市伝統工芸産業優秀技術者表彰
- 昭和63年 全国漆器展日本経済新聞社賞(以後、1回)
- 平成 2年 全国漆器展通商産業省生活産業局長賞
- 平成14年 全国伝統的工芸品公募展商工中金理事長賞
- 平成15年 全国漆器展商工中金理事長賞
- 平成26年 富山県功労表彰
- 令和元年 卓越した技能者(現代の名工)表彰
- 令和 2年 高岡市功労者表彰
- 令和 2年 全国漆器展全国漆業連合会会長賞
- 令和 4年 瑞宝単光章

〔経歴〕

- 昭和47年 高岡市特産産業技術者養成スクールにて6年間塗・蒔絵技法の習得
父健三に師事、螺鈿薄貝技法を習得
- 昭和60年 高岡伝統産業青年会会長
- 昭和61年 高岡漆器青年会会長
一級漆器製造技能士螺鈿第一号認定
- 昭和63年 有限会社武蔵川工房設立。後進技術者の養成につとめる
- 平成元年 富山県デザイン協会常任理事
- 平成 3年 富山県卓越技能院二号会員理事
- 平成 8年 伝統工芸士に認定
- 平成 9年 高岡市伝統的工芸品技術・技法の継承者育成事業講師
- 平成10年 伝統工芸高岡漆器協同組合副理事長
- 平成19年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
- 平成27年 高岡巧美会副会長
- 令和元年 高岡巧美会会長